

03

基本計画
戦略的重点
プロジェクト

邑南町第3次総合振興計画

戦略的重点プロジェクト

本計画で示す政策・事業は、いずれも本町にとって重要なものですが、戦略的重点プロジェクトは、様々な取り組みの中でも、今後10年の間で特に重点的に取り組む4つのプロジェクトを指します。

戦略的重点プロジェクトに取り組むことで、本計画の理念「地域とつながり、挑戦を育む町」の実現にむけ効果的に取り組みます。



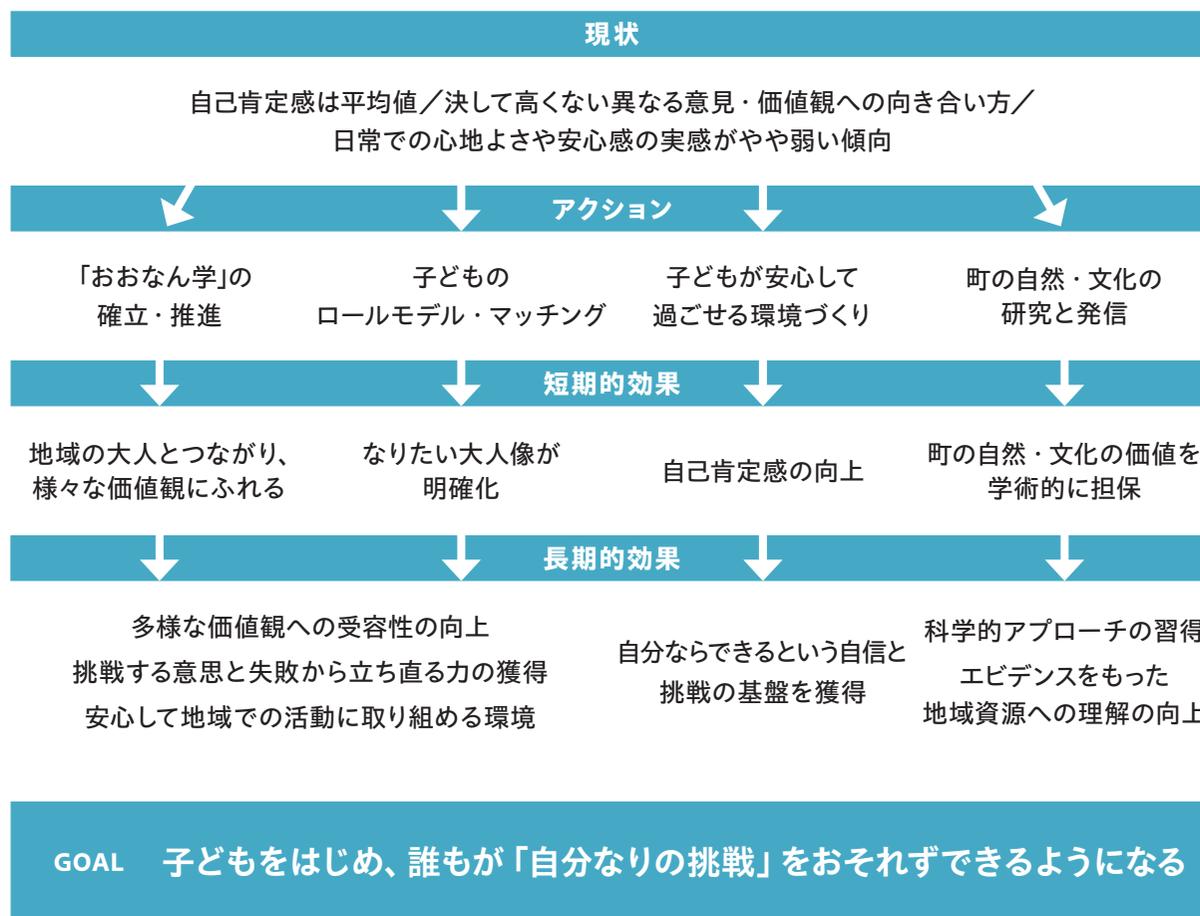
03

基本計画
戦略的重点
プロジェクト

ひとを育てる

学校・家庭・地域が一体となった「おおなん学」の推進

これまで長年培ってきた「ふるさと教育」をベースに、邑南町のことをさらに深く知るための「学び」を学校・家庭・地域が一体となって支援する取り組みです。こうした取り組みを通じて、子どもたちには「自分なりの挑戦」をおそれずできる子どもになってほしいと考えています。子どもとの関わりを通じて、大人たちもまた学び直し、挑戦できる人づくりへとつなげていきます。



- | 目的 |
|--|
| ○挑戦に踏み出せる環境をつくる |
| ○自らを導いてくれたり、サポートしてくれる存在を認識する |
| 取り組み内容 |
| ○「おおなん学」の確立・推進 |
| ○子どものロールモデル・マッチング |
| ○子どもが安心して過ごせる環境づくり |
| ○町の自然・文化の研究と発信 |
| 期待する効果 |
| ○様々な大人の「生き方」を学び、「失敗」を重ねて今に至っていることを理解する |
| ○地域の中での理解者が増えることで活動を安心して行えるようになる |
| ○地区ごとに人や資源に特色があることを知る |

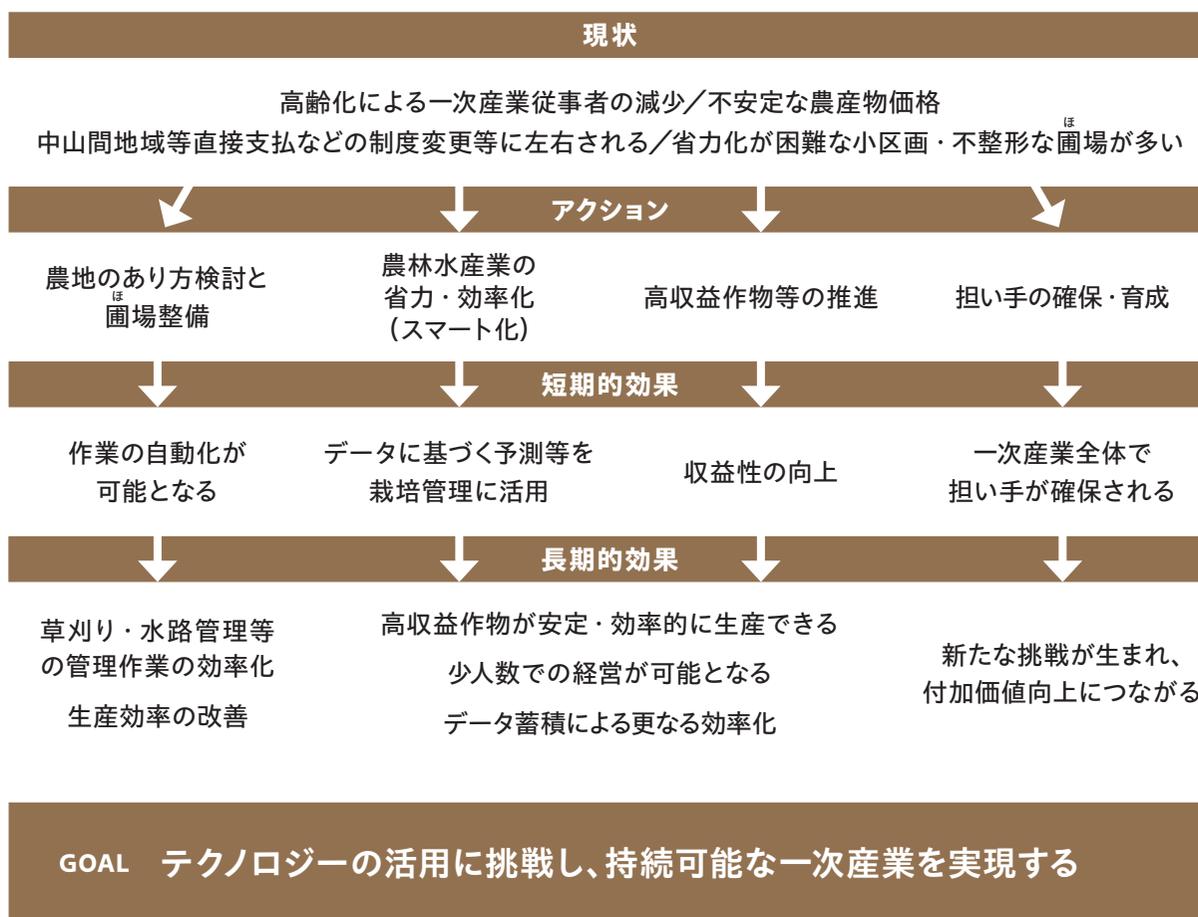
03

基本計画
戦略的重点
プロジェクト

しごとを伸ばす

テクノロジーを活用した持続可能な農林水産業の実現

高齢化や人口減少に伴う担い手不足など農林水産業を取り巻く厳しい状況下において、特に本町の基幹産業のひとつである農業に対しては、省力化による圃場管理負担の軽減、気候変動等に対応した生産安定化、高品質な高収益作物の生産による所得の向上を目的としたデジタル技術やAI等のテクノロジー導入を推進し、持続可能な一次産業の実現を目指します。



- | 目的 |
|---|
| ○生産性向上・作業の効率化及び品質向上、高付加価値化による所得向上 |
| ○経営の効率化及び担い手の確保・育成による労働力不足の解消 |
| 取り組み内容 |
| ○地域での農地維持のあり方検討と圃場等の整備 |
| ○農林水産業のスマート化を推進 |
| ○高収益作物等の導入 |
| ○担い手の確保・育成 |
| 期待する効果 |
| ○主業農家（担い手）が増加する |
| ○テクノロジーを活用して少人数でも可能な経営が実現される |
| ○第2段階の圃場整備や設備の自動化等の効率的経営の基盤が整い、担い手への集積が進む |

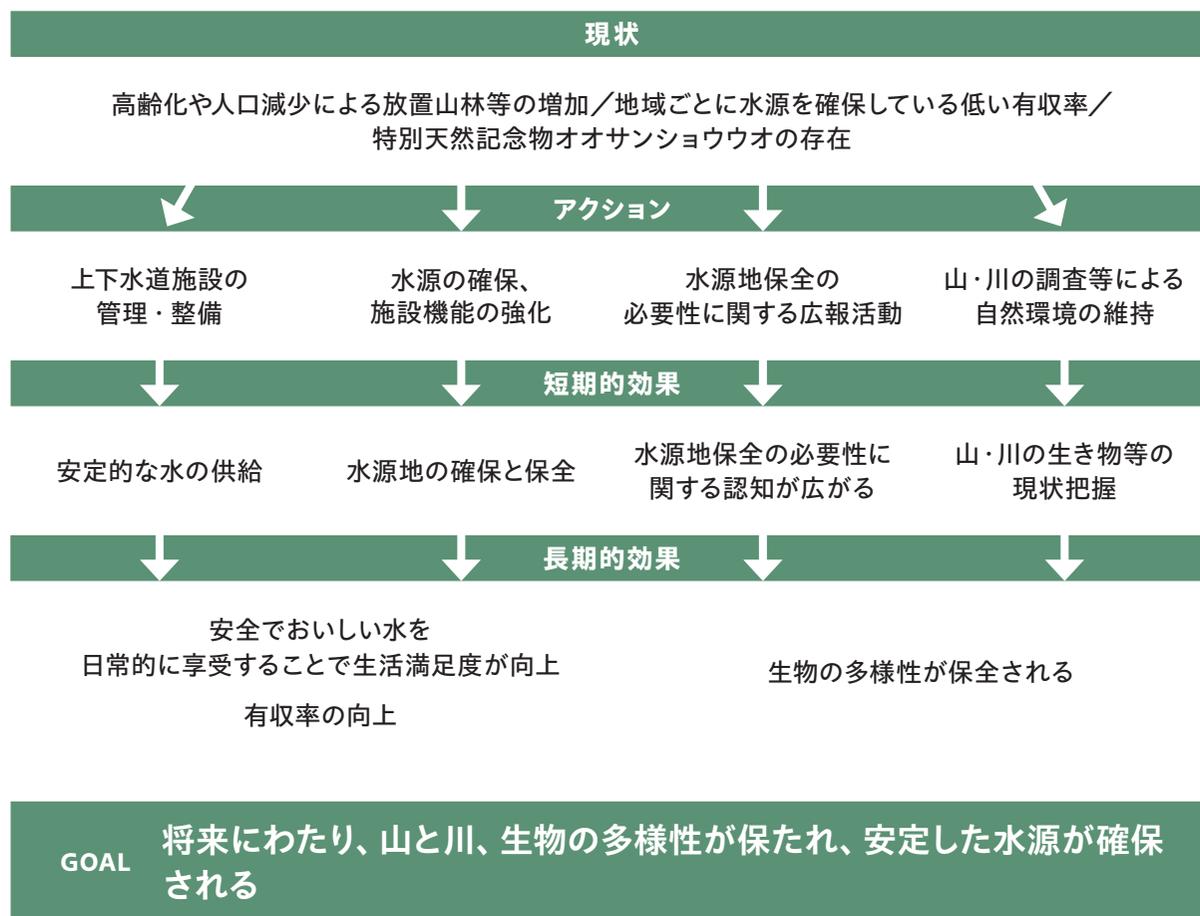
03

基本計画
戦略的重点
プロジェクト

くらしを守る

山と川、生物多様性を保全し、安定した水源を確保

中国山地の中央に位置し、総面積の86%を豊かな森林が占める本町において、江の川やその支流などから得られる自然の恵みを守ることは重要な取り組みです。豊富な地下水・水資源を引き続き確保し、将来にわたり安定した供給が行われるよう水源地となる森林環境等保全の必要性を広く周知するとともに、特別天然記念物オオサンショウウオに代表される生物多様性の保全にも取り組みます。



- 目的**
- 生活用水等が安定的に供給される
 - 水循環が維持されることで、持続可能な社会基盤への整備につながる
- 取り組み内容**
- 上下水道施設の管理・整備
 - 水源の確保、施設機能の強化
 - 水源地保全等に関する広報活動
 - 山・川の調査等による自然環境の維持
- 期待する効果**
- 水源が確保されることにより、今後も生活用水等が安定的に供給される
 - 水質等の現状把握により、環境保全等への意識が高まる
 - 健全な水循環が引き続き維持される

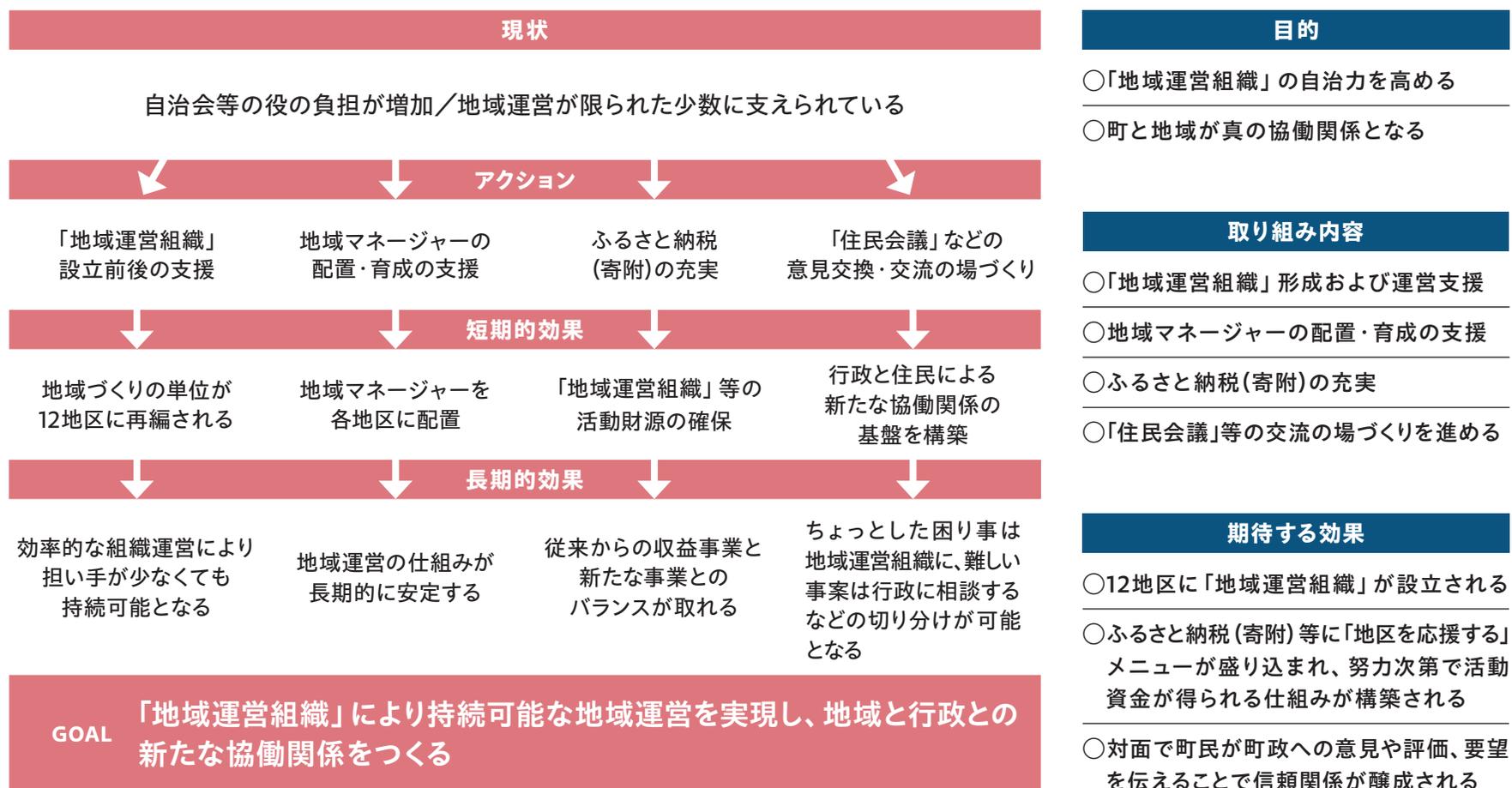
03

基本計画
戦略的重点
プロジェクト

つながりを深める

多様な力を結集した地域コミュニティの育成

人口減少や高齢化を背景に自治会をはじめとした各団体等に求められる「役」の負担が課題となっており、自治会や地区諸団体の統合などを経て、人が減っても持続的に運営が可能な仕組みとして「地域運営組織」の形成を推進しています。今後も多様な意見を受け止め、より多くの人の共感と合意を得られるような体制づくりを支援していきます。



03

基本計画
ひとを育てる

安心できる教育環境と地域のつながりで未来の人材を育むまちをつくる

挑戦を育てる学びのコミュニティ

地域や環境、産業などを創り出し、守り伝えていく主体は「ひと」です。

邑南町では、「ひとを育てる」という柱に対して

6つのテーマで取り組みます。



03

基本計画
ひとを育てる

1. 地域社会で共に育てる「子育て環境」の向上

邑南町で育ち学ぶ子どもたちが、挑戦に踏み出せるよう、安心して過ごし発言できる環境づくりを推進します。

○ 妊娠期からの切れ目のない支援体制の充実

誰もが安心して子育てに向き合える環境づくりの実現を目指し、「子どもまるごと相談室」を中心に妊娠期前後からの切れ目のない相談・支援体制を充実させます。

○ 愛着形成の促進と豊かな遊びと体験機会の充実

乳幼児期は基本的な生活習慣や人格形成の基盤をつくる大切な時期であり、愛着形成は、身近な大人が子どもの気持ちを繰り返し受け止め、寄り添うことで獲得される安心の土台となります。様々な体験や遊びを通じて豊かな心を育み、親子の関係づくりを支援し愛着形成を促進します。

○ 幼児期の教育・保育の充実

幼児教育は、子どもが自ら興味・関心を持って環境（ひと・もの・こと）に関わり、遊びに没頭する中で試行錯誤を繰り返し、様々な力を身に付けていきます。小・中・高等学校教育へのつながりを見据え、幼児期の終わりまでに育ててほしい姿を考慮した教育・保育の充実に努めます。

自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



目標・指標	現状値	目標値
① 自分のことを好ましく感じる	33%	50%
② 地域社会や誰かの役に立てていると感じる	20%	40%

03

基本計画
ひとを育てる

II. 幼少期からの健康づくりで心も身体も大事にケア

一人ひとりの健康づくりの推進、自身を愛し大切にすることを育てます。

○ 総合的な食育の推進

邑南町で生産・収穫される食材を用いた食育の推進に取り組み、健康的な食習慣の形成、地域の食文化と農林水産業の結びつきの強化を図ります。

○ 生涯を通じた健康施策の推進

各ライフステージに応じて、健康診査・検診体制を整備し、健康づくりを推進します。また、子どもや若者が将来の自己実現に向け、ライフプランを考えて、日々の生活や健康に向き合えるようプレコンセプションケアを推進していきます。

○ スポーツを通じた健康増進の取り組みを推進

スポーツを通じた健康増進等の取り組みについての周知を図り、誰もがスポーツに親しめる環境づくりを推進します。

自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

プレコンセプションケアとは...性別を問わず、適切な時期に性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン(将来設計)や将来の健康を考えて健康管理を行うことを指します。



目標・指標	現状値	目標値
① 身体的に健康である	53%	65%
② 精神的に健康である	56%	65%
③ 色々なスポーツに関われる機会がしっかりとある	—	50%

03

基本計画
ひとを育てる

III. 学校・家庭・地域が一体となった「おおなん学」の推進

地域の大人とふれあい、交流することで、地域の中で挑戦しやすい雰囲気醸成します。

○「おおなん学」の確立・推進

学校・家庭・地域が一体となって取り組むふるさと教育「おおなん学」を確立・推進します。邑南町のことを深く知り、地域の中で様々な体験を重ねることで、その後のキャリア教育にもつなげていきます。

○子どものロールモデル・マッチング

邑南町で暮らす様々な方々の生き方、価値観等を分かりやすく子どもたちに示し、「こんな大人になりたい」と思える大人との出会いを創出することによって、自分の生き方について考えるきっかけを提供します。

○子どもが安心して過ごせる環境づくり

子どもの権利を守り、安心できる学校や第三の居場所を整備して「大切にされている」と実感できる環境をつくれます。また、特別な支援が必要な子には、乳児期から就労まで切れ目のないサポートを行い、一人ひとりに寄り添います。

○町の自然・文化の研究と発信

瑞穂ハンザケ自然館・郷土館・久喜銀山等は、町の自然や文化を学ぶ拠点です。また、町内には多くの神楽団があり、伝統芸能を継承しています。これらの価値や魅力を広く発信し、共有することで将来にわたって保存・活用することができる環境の整備を目指します。

おおなん学



そもそも
「おおなん学」って
なに!?

ロールモデル・マッチングとは... 教育におけるロールモデル・マッチングは、子どもが自分の将来の夢や興味関心に近い「憧れの大人」と出会い、対話や活動を共にする機会を得るための仕組みであり、学習意欲の向上や社会的スキルの発達、自己効力感の向上などの効果が期待されると言われています。

目標・指標	現状値	目標値
① 子どもたちがいきいきと暮らせる	26%	40%
② 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	16%	40%

03

基本計画
ひとを育てる

IV. 邑南町の教育にあった学校の在り方の研究・実現

町の規模に応じた「学びの選択肢」を充実させることで、多様な子どもたちの主体的な学びを推進します。

○ 矢上高校・石見養護学校の魅力化推進

矢上高校と地域の未来をつくる会(コンソーシアム)の機能強化、学校運営協議会等を通じた矢上高校・石見養護学校の魅力化を推進する取り組みを支援し、邑南町における中等教育の充実に努めます。

○ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

学びのニーズが多様化し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が求められる中、研修等を通じて教師のスキル向上に努めます。

○ 多様な学びの選択肢の確保・充実

それぞれの学校の特性を最大限に生かした多様で魅力ある教育を展開します。これにより、全ての児童に質の高い教育環境を確保できるよう努めます。

自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



目標・指標	現状値	目標値
① 一人ひとりの特性に応じた学びが享受できる	—	50%
② 学びたいことを学べる機会がある	13%	35%
③ 町内中学生の矢上高校オープンスクール参加割合	56.1%	65%

03

基本計画
ひとを育てる

V. 地域での活躍を後押し—邑南町の未来を描く学び

大人の挑戦を後押しするため、多様な分野の人と情報をつなぐ結節機能を実現し、新たな価値を生み出す起業家精神を持った人材育成等に取り組みます。

○ 地域におけるデジタル人材の育成・確保の推進

急速な進化をとげるAI等のデジタルテクノロジーを正しく理解し、活用できる人材の育成・確保に努めます。

○ 各種コーディネーターのネットワークづくり

様々な分野に配置されているコーディネーター（つなぎ役）同士の連携、ネットワークづくりにより、分野を超えた連携の基盤を整えます。

○ 町内外の人材還流促進

アントレプレナーシップ教育プログラムの推進等により、邑南町出身者だけでなく、地域みらい留学生（高校生）や地域おこし協力隊員等の人材還流促進に取り組みます。

自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



アントレプレナーシップ教育とは...アントレプレナーシップ教育とは、社会課題を見つけ、自ら考え行動し、他者と協働して新しい価値を創造する力（起業家精神・資質・能力）を育む教育です。

目標・指標	現状値	目標値
① 学びたいことを学べる機会がある	13%	20%
② 地域おこし協力隊等の制度を活用した移住者数	58人	100人

03

基本計画
ひとを育てる

VI. 公民館エリアの地域資源を生かした教育の充実

大人の学び直しも含め、子どもから大人まで幅広く地域社会をフィールドとした「学び」を享受できる環境を整備します。

○ 公民館等を生かした社会教育の充実

かねてより評価の高い公民館を中心とした社会教育・生涯学習の取り組みをさらに充実させ、「地域運営組織」との連携等にも取り組みます。

○ 人権・同和教育の啓発・推進

人権・同和教育等を啓発・推進し、一人ひとりの権利が尊重され、守られる町を目指します。働き方や価値観が多様化し、外国人世帯も増加傾向にある中、多様な人との交流・共生を通じ、文化の違いを超えてお互いを尊重する気持ちを育み、誰もが安心して幸せに暮らせるまちづくりにつなげます。

自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



目標・指標	現状値	目標値
① 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	16%	40%
② 地域活動への参加が盛んである	34.6%	45%

03

基本計画

しごとを伸ばす

ブランド化や多様な働き方を支援し、地域を支える産業の高付加価値化を図る 「おおなんブランド」を基盤とした挑戦の促進

町の活力を支えるのは産業であり、「しごと」です。

邑南町では、働く人を大切にすることなど

8つのテーマで取り組みます。



03

基本計画
しごとを伸ばす

I. テクノロジーを活用した持続可能な農林水産業の実現

高齢化や人口減少に伴う担い手不足などの課題をテクノロジーの活用で補う効率的な経営、農林水産業の振興を推進します。

○ 地域での農地維持のあり方検討と圃場等整備

地域計画を踏まえた地域との話し合いを通じて、効率的な農業経営を可能とする圃場・水路等の整備を推進し、地域の農業維持のあり方を検討します。

○ 農林水産業のスマート化を推進

若い世代の新規就業を促進し、効率的な一次産業経営実現のため、テクノロジーの更なる活用・推進に取り組みます。

○ 高収益作物の導入

農林水産業従事者の所得向上を目指して、高品質な高収益作物の生産等を推進・支援します。

○ 担い手の確保・育成

「神紅」の栽培を入口とした新規就農者の増加を踏まえ、引き続き農林水産業全体の担い手育成・確保を支援していきます。



そもそも
「農業の今」って
どうなん!?

目標・指標	現状値	目標値
① 農業や林業での生産や販売は成果を上げてきていると思う	—	50%
② 新規就農者数 (令和8~17年度累計)	—	20人

03

基本計画
しごとを伸ばす

II. 豊富な森林資源の有効活用と循環型林業の確立

森林率86.5%と豊富な森林に恵まれている邑南町の森林資源の価値を見直し、多様な観点から山林の活用を推進します。

○ 森林の集約化による森林整備の推進

様々な理由から放置される森林が増加する中、森林経営管理制度を活用しながら森林の集約化を図り、効率的かつ適切な森林管理を行うことで森林の多面的機能の発揮につながるよう努めます。

○ 町内産木材利用の促進

豊富な森林・山林資源を有効活用するため、木材製品等の開発や販売促進、バイオマスエネルギーとしての利用を促進し、森林資源の価値を分かりやすく発信していきます。

○ 企業・町民・行政の三者連携による林業DXの推進

林業においても作業効率向上と作業負担軽減のためDX化を推進し、担い手の確保や事業体育成、適切な森林管理・経営の実現に努めます。

自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



目標・指標	現状値	目標値
① 林業に関する生産・販売・利用は以前よりも向上してきていると思う	—	50%
② 山林の手入れや利用は充実してきていると思う	—	50%

03

基本計画
しごとを伸ばす

Ⅲ. 起業・第二創業等の町内事業者の挑戦を支援

総合的な相談窓口として「おおなん相談所」による支援を展開するなど新規開業・第二創業等の挑戦を応援し、資金調達の不安解消などにも努めます。

○「おおなん相談所」を中心とした事業者支援

「おおなん相談所」を中心とした相談などのソフト面の支援充実を図り、個人事業主等を中心とした起業や事業承継、第二創業などに対応していきます。

○起業・創業しやすい環境整備支援

空き家・空き店舗等の活用に向けて、貸しオフィスやコワーキングスペースの整備等ハード面の支援充実を図ります。

○地域内での経済循環の拡大

町内での消費拡大につながる取り組みを支援し、地域内での経済循環の効果を分かりやすく発信していきます。

自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



目標・指標	現状値	目標値
① 毎年の新規創業・第二創業の数	5件	7件
② 事業者満足度	—	50%
③ 新たなことに挑戦・成長するための機会がある	8%	30%

03

基本計画
しごとを伸ばす

IV. 道の駅や農産物直売所を起点に観光による経済波及

道の駅「邑南の里」や農産物直売所を結節点（ハブ）として、町内各地区への観光による経済波及を推進します。

○ 観光情報の多言語対応推進による満足度向上

道の駅「邑南の里」の開業などを経て、今後期待される外国人旅行者向けに、邑南町の魅力を伝える多言語での観光情報発信に努めます。

○ 観光コンテンツの開発

邑南町の自然や文化を体験できる観光ルート開発、滞在時間延長につながるメニュー開発などに取り組むとともに、事業者の主体的なコンテンツ開発等を支援します。

○ 観光DXの推進

クレジットカードやコード決済対応などが進んでいない施設等を対象に、利便性向上と消費者の利用促進につながるキャッシュレス化を推進するとともに、観光に資するデータを蓄積し、関係者間で共有・活用していきます。

自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



目標・指標	現状値	目標値
① 多言語対応・発信状況	3言語	6言語
② 観光協会によるツアー催行数	4回	6回

03

基本計画
しごとを伸ばす

V. 邑南町の新たなイメージ戦略とその活用

「〇〇と言えば邑南町」、「邑南町と言えば〇〇」を想起してもらえるような、町としてのイメージを構築・発信することで民間事業者の後方支援につなげます。

○「^{しんく}神紅」の産地化とブランド力の向上

島根県オリジナル品種の高級ぶどう「^{しんく}神紅」は、邑南町が県内でも有数の栽培面積を有しており、今後も生産量の増加が見込まれます。引き続き、産地化に向けた施設整備や担い手確保などの取り組みを支援していきます。

○「神楽」を生かしたコンテンツ力の向上

邑南町で今も盛んに取り組まれている石見神楽・大元神楽の魅力を発信し、集客につながるコンテンツとして推進します。また神楽の担い手確保についても取り組みを支援していきます。

○邑南町への多様な関わりしらの充実

邑南町としての対外的なイメージ構築・醸成に向けて、新たなシティプロモーションに取り組めます。PR発信だけでなく、事業者、旅行者等のニーズの把握・分析につながる取り組みを支援します。

○おおなんブランドで新たな産業の創出

多様な分野の事業者・人材・資源を掛け合わせ、町の総力を結集した新たな特産品の開発、ものづくり産業の創出に取り組めます。



自分たちにもできることを考えてみよう!

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

目標・指標	現状値	目標値
① 邑南町が運用するSNS総フォロワー数	5,382人	10,000人

03

基本計画
しごとを伸ばす

VI. 邑南町の自然を守り・生かすー環境産業の推進

邑南町の豊かな自然を守る取り組みを進めるとともに、森林資源や地形・景観を生かした環境・エネルギー産業を推進し、人材育成・雇用創出に取り組みます。

○ 森林資源の付加価値化

J-クレジット制度等の活用シミュレーションを行い、森林資源を介した新たな外貨獲得の取り組みについて検討します。

○ エネルギーの地産地消による経済基盤の確立

薪ボイラー・薪ストーブ、太陽光発電等の地域に根ざしたエネルギー活用と地産地消の推進による経済基盤の確立に努めます。

○ 邑南町らしい里山景観の保全

製鉄産業・鉄穴流しの名残りである地形、石州瓦等の邑南町らしい里山景観の保全に努めます。

J-クレジットとは...省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO2の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。クレジットの売却益により、設備費用の一部を回収したり、さらなる省エネ投資に活用することもできます。



自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

目標・指標	現状値	目標値
① リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取り組みが盛んである	13%	30%
② 自慢できる自然景観がある	51.8%	65%

03

基本計画
しごとを伸ばす

VII. 多様な働き方ニーズを満たし、働くひとを応援

多様なニーズに対応できる仕組みを民間事業者と共創し、働き手確保に努めます。また、邑南町の企業で働いて良かったと思えるキャリア形成を支援します。

○ 多様な人材の確保

農福連携や外国人雇用、スキマバイトなど多様な人材・働き方ニーズへの対応を推進します。

○ 女性や子育て世代が活躍できる環境づくりを推進

町が認定する女性活躍・子育て応援企業の表彰を通じて、町内事業所における女性活躍・子育て支援の取り組みを推進します。

○ 進出企業会との連携強化・企業誘致

進出企業会との連携により、町内での雇用を維持するとともに、本町への進出に関心を持つ企業に対しての情報発信を強化します。

自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



目標・指標	現状値	目標値
① 適切な収入を得るための機会がある	13%	30%
② 挑戦・成長するための機会がある	8%	30%
③ キャリアアップ・資格取得を積極的に応援している	—	50%

03

基本計画
しごとを伸ばす

VIII. 事業承継・組織連携・人材確保を通じた事業継続支援

事業者間の事業承継や経営統合、JV等の総合事業体設置に向けた検討支援に取り組み、多様な分野での業務遂行体制を確保し雇用の安定化を図ります。

○ 事業継続に向けた人材確保

多様な分野での担い手不足が顕在化してきており、多様な観点から人材確保に向けた取り組みを推進します。

○ 異業種連携コーディネート機能の強化

農業と福祉の連携などに代表される他分野・異業種間のコーディネート機能を強化し、新たな価値を生み出す事業者間連携につなげます。

○ 農林水産業の後継者確保・育成支援

町内の農林水産業振興に資する人材を育成するための学資援助を引き続き行うとともに、町内農林水産業に関する情報発信・提供に努めます。

自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



目標・指標	現状値	目標値
① 自分の仕事に満足している	48.3%	70%
② やりたい仕事を見つけやすい	5.7%	20%